

シンポジウム

欧米における広域大停電と電力自由化からの教訓

Message from Wide-Area Blackout and Deregulation in Europe and U.S.A.

主催：名古屋大学 エコトピア科学研究機構

協賛：IEEE名古屋支部，(社)電気学会東海支部，エネルギー・資源学会 (一部交渉中)

日時：平成16年8月3日(火) 13:30～16:30

場所：名古屋大学 野依記念学术交流館 2F

カンファレンスホール

参加費：無料 定員：200名

シンポジウムの趣旨

欧米諸国で経験した最近の大停電事故の状況(大停電に到った原因、プロセス、復旧、被害の状況等)とこれら大停電から得られた教訓を関係の機関の方々より直接講演してもらい、電力自由化時代における安定供給のための電力システムの構成・運用方法、大停電を防止する、あるいは被害を最小限に極限するために、必要な運用・制御技術などのソフトウェア、ハードウェアに関する技術面の他、設備投資のあり方についても議論する。(通訳無し)

プログラム

- 13:30～13:45** 趣旨説明
後藤 益雄 (名古屋大学 エコトピア科学研究機構 客員教授)
- 13:45～15:00** 北米大停電：何が起きたのか？また、起き得るのか？
The North American Blackout: What Happened; Could It Happen Again?
John J. Easton, Jr. (エジソン電気協会副会長, 米国)
- 15:00～15:15** 休憩
- 15:15～16:30** 欧州における電力自由化と安定供給の確保と投資
Ensuring Security of Supply and Investments in Europe's Liberalized Electricity Market
Paul Bulteel (欧州電気事業連盟事務局長, ベルギー)
- 司会：大久保 仁 (名古屋大学 エコトピア科学研究機構 教授)